



■いもっこ体操養成講座 場所:藤久保公民館

全ての日程に参加し、サポーター登録をしていただけ る人には、いもっこ体操のDVDをお渡しします。

	日程	内容	講師	時間
11	1月6日	高齢者の身体機能の特徴	理学療法士	
	(金)	いもっこ体操実技	- 廷子 僚広上	
11	月10日	高齢者の身体機能を高める	健康運動指	13:30
	(火)	いもっこ体操実技	導士	13.30
11	月 25 日	高齢者の筋力トレーニング	理学療法十	15:30
	(/k)	いもっこ体操実技	- 年子 原 広 上	15.30
12	2月3日	高齢者に忍び寄る栄養問題	管理栄養士	
	(木)	いもっこ体操実技	理学療法士	

※講座ではサポーターの役割などの説明も行います。

■いもっこ体操健康教室

いもっこ体操を開催している各地区で年1回実施。 10月は藤久保第3区で開催されます。

場所: 藤久保3区第2集会所

	20171 134.2	(),, 0 = /,, =	
日程	内容	対象	時間
10月29日(木)	食事・栄養についての講話 脳トレ体操など	65歳以上 の人	10:00 ~ 11:30

問い合わせ・申し込み

健康増進課 地域包括支援センター (内線 188・189)

はサポーター を続けることで、年を取っても運動 理と思っていませんか。適切な運動 施しています。 機能を維持・改善することができま 年を取ったから運動しても意味が いもつこ体操は、 そのための手助けとして、 いまさら筋肉を付けるのは無 と呼ばれる地域住民の もっこ体操〟 町内の集会所な

気もはぐくみます。

操養成講座」が開催されます。参加 者同士の交流も行われ、こころの元 き元気に暮らすきっかけ作りとして. 10月には「いもっこ体操健 体操の他にも脳トレや してみませんか。 11月・12月に「いもっこ体 詳しくはお問い合わせく いつまでもいきい 2回程度実施し 【町】災害対策本部と指定避難 マを設定しました。 緊急地震速報訓練 11 月 5 日休は、J-ALERT から送られてくる国の緊 急情報を確実に住民の皆 さんに伝えるため「防災

練テー

や非常トイレ組立、

発電

機使用などの訓練を実施。

全ての避難所エリアを総合型

特に3つのエリアに訓

体の協力のもと、三角巾応急手当

時避難地参集、

訓練を行い、

避難所ごとに各種団

るときの経路や連絡方法などをこ 頭を守り、 全確保行動1 線が聞こえたら、 イクアウト訓練を実施し、 機会に家族で確認 訓練に参加しない人も、 の情報伝達訓練を行います。 動かない」というシェ - 2 - 3 「まず低く、 地震発生時の安 しましょう。 防災無 避難す

町内全ての指定避難所 (小中学校8校)を開設し、役場庁舎内の災害対策本 部との情報連絡体制を確認する地域連携避難訓練を今年も開催します。

地域連携避難訓練を実施します。

近隣安否確認、 指定避難所開設の

な行動を確認・体験するため、

大災害がおきたときの具

問 自治安心課防犯防災担当 內線 265.266

しものときは、

突然やってき

指定避難所の一覧

緊急地震速報の試験を実

施。詳細は広報みよし11

月号でお伝えします。

	指定避難所	対象行政区(原則)
	上富小	上富1、2区・上富3区(関越自動車道より西)
	三芳中	上富3区(関越自動車道より東)・北永井1、2区
	三芳小	北永井3区・藤久保5区(国道254号より西)
	藤久保小	藤久保 2、3、6 区・藤久保 5 区 (国道 254 号より東
	三芳東中	藤久保 4 区
	唐沢小	藤久保 1 区
	藤久保中	みよし台 1 区
	竹間沢小	竹間沢 1 区

避難訓練の想定』 10月17日出午後1時30分、東 は6弱。全域で停電が発生、避難者の発生が見込まれ る。町は、災害対策本部を設置、行政区でも集会所等 を拠点に地区災害対策本部を設置する動きがみられる。

【訓練開始のお知らせ方法】

- ➡)防災行政無線…10月17日出午後1時30 分に訓練開始の訓練放送を流します。
- ⋈ 三芳町地域コミュニティメール…登録者には 事前に訓練がある旨のメールを配信します。
- ⇒ ツイッター…@miyoshi_machi(町公式ア) カウント)でお知らせします。

エリア別 テーマ訓練(※)



藤久保小エリア

三芳医会の協力を得て、倒壊家屋か ら救出したけが人のトリアージと応 急救護仮設所の開設、重傷者の総合 病院への救急搬送を実施。



藤久保中エリア マンション避難

階段避難車を使ったマンションから の災害時要援護者避難や、断水を想 定して、浄水機使用、給水車による 給水などを実施。



三芳中エリア

体育館内に要援護者用スペースを 設置し、重度の要援護者は、福祉 避難所へ搬送。また、遠隔手話通 訳の通信実験を実施。

MIYOSHI MIYOSHI | 12